

の制度統一、受益者負担の公平性、地球温暖化対策などを総合的な観点から検討した④資源化、温暖化対策等に使っていききたい。

委員 有料化について、現段階では市民合意が得られていないとは言い難い。市当局は汗をかいて、ごみの現状と課題について説明会をできるだけ多く実施し、市民へごみ減量に対する理解を求め、ある程度の合意形成がなされるまで、本条例改正案は継続審議とするべきだ。

経済委員会

平成20年度岡山市一般会計予算ほか六件の議案が付託され、いずれも全会一致で原案のとおり可決・同意すべきものと決定した。

牧山クラインガルテンの

利用状況と継続性

委員 施設の利用料収入で事業費を賄うということで設置を認めた。利用率が低迷し、税金を投入している現状がある。廃止を検討してはどうか。今までの最高利用率は80



牧山クラインガルテン

数%で、このときは利用収入だけで十分賄えた。利用率が70%を下回り始めたところから市の負担が発生するようになった。地元に行き利用率向上策を考えたり、マンションへのチラシ配布などをしたがあまり効果がなかった。土地賃借期間の終了が五、六年後に迫り、土地所有者の後継者とその時に向けて現状を交えて話を進めている。

委員 現在のような利用状況であれば、賃借期間終了を待たずに20年度で事業を打ち切ってはどうか。

市 現状での事業継続は非常に難しいと考える。所有者との約束もあるが、できるだけ早く結論を出していきたい。

建設委員会

岡山市営住宅条例の一部を改正する条例の制定ほか十二件の議案が付託され、五議案について一部委員から反対があったが、いずれも原案のとおり可決・同意すべきものと決定した。

浦安総合公園ほか六公園

指定管理者の指定

浦安総合公園ほか六公園の指定管理者として引き続き、(財)岡山市公園協会を非公募により指定する。

委員 市の指定管理者の選定は原則公募だが、なぜ非公募により選定するのか。

市 公園の施設管理と緑化推進は一体不可分であり、都市ビジョンに掲げる「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」の実現には、市と連携して緑化推進事業に実績を残している(財)岡山市公園協会を指定管理者とすることが最も合理的だ。

駅元町地区市街地再開発

全日空ホテル保留床の売却

昨年、(株)レイとの全日空

ホテル保留床売却の優先交渉が不調に終わり公募を行ったが、応募がなかった。現在行っている鑑定評価ができ次第、再度(株)レイとの交渉を行う。

交渉不調の場合は二回目の公募に移るが、その際はホテル不動産に精通したコンサルタントにアドバイザー業務を委託し、売却を進めたい。

委員 市職員が売却に直接携わるのではなく、プロであるコンサルタントに委託し、確実に売却できるようにすべきであり、その際は売却価格が原価を割らないよう求める。



再開発の進む駅元町地区

文教委員会

岡山市立青年の家条例を廃

止する条例の制定ほか五件の議案が付託され、いずれも原案のとおり可決・同意すべきものと決定した。

体育館の耐震改修

旧耐震基準で建てられた六十五棟について、平成19年度から五カ年計画で改修しようとするものであり、20年度は、小学校九校、中学校二校を予定している。

委員 体育館の中には床が古くなりかなり傷んでいるようなところもあるが、現在の厳しい財政状況を踏まえると、五年間で耐震改修のみを実施し、その後他の改修に取り掛かっていくのか。

市 以前のような大規模改修を含めた耐震改修を行うと、一校当たりの改修単価が億を超えてしまう。こうしたやり方では耐震化を計画どおり完了させることは困難だ。原則的には耐震改修のみだが、数年後にまた大規模改修が必要となれば、予算の執行上も効率が悪く、子どもたちや学校への負担も大きくなるため、そういった場合は同時に行う方針だ。